

メダカの

いみつ大研究



高松市立太田小学校

3-2 高尾侑生

はじめに

ぼくは 1年生 2年生の時にサリガニをそだ  
てることで、たくさんのは、けんがあり、水べ  
の生き物がより大きくなった。他にもメダカ  
どいしょう、さあがにをそだてている。さしきん、  
メダカのおなかにたまごがつりてい  
るのを見つけた。そこで、ふだんそだてて  
いたメダカは、どのようにせりちようする  
のか知りたしと思し、  
図書館の本で言聞べることにした。



メダカのおなかに  
たまごがつりてい  
る。



2本で調べてみよう

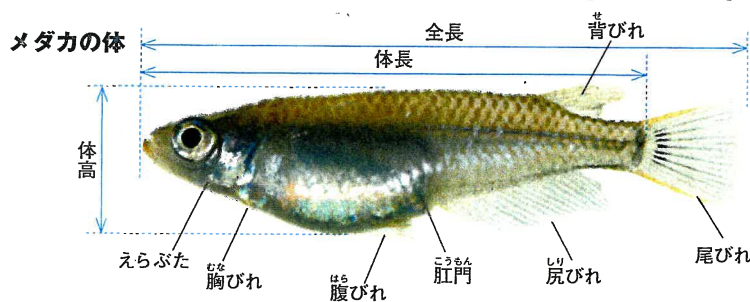
<きっかけ>

ちかくの水ろでメダカが泳いでいるのを見つけた、何匹も育てていた。毎日えさをあげていると、ある日メダカのおなかにたまごがついているのを見つけた、メダカはどのように産卵するのかしらりたいと思った。

1) メダカとは

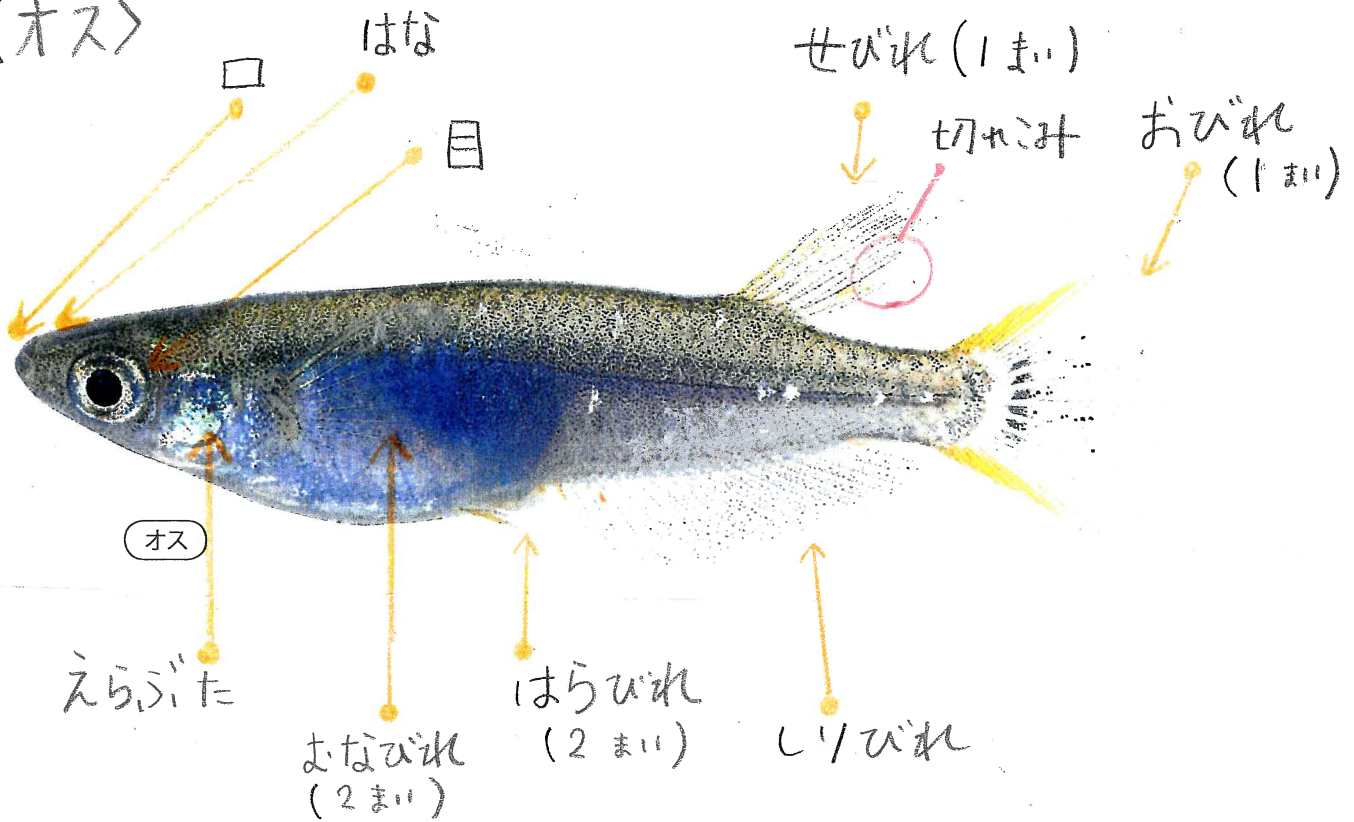
メダカは、ダツ目メダカ科メダカ属に分属される淡水魚

2) メダカの体

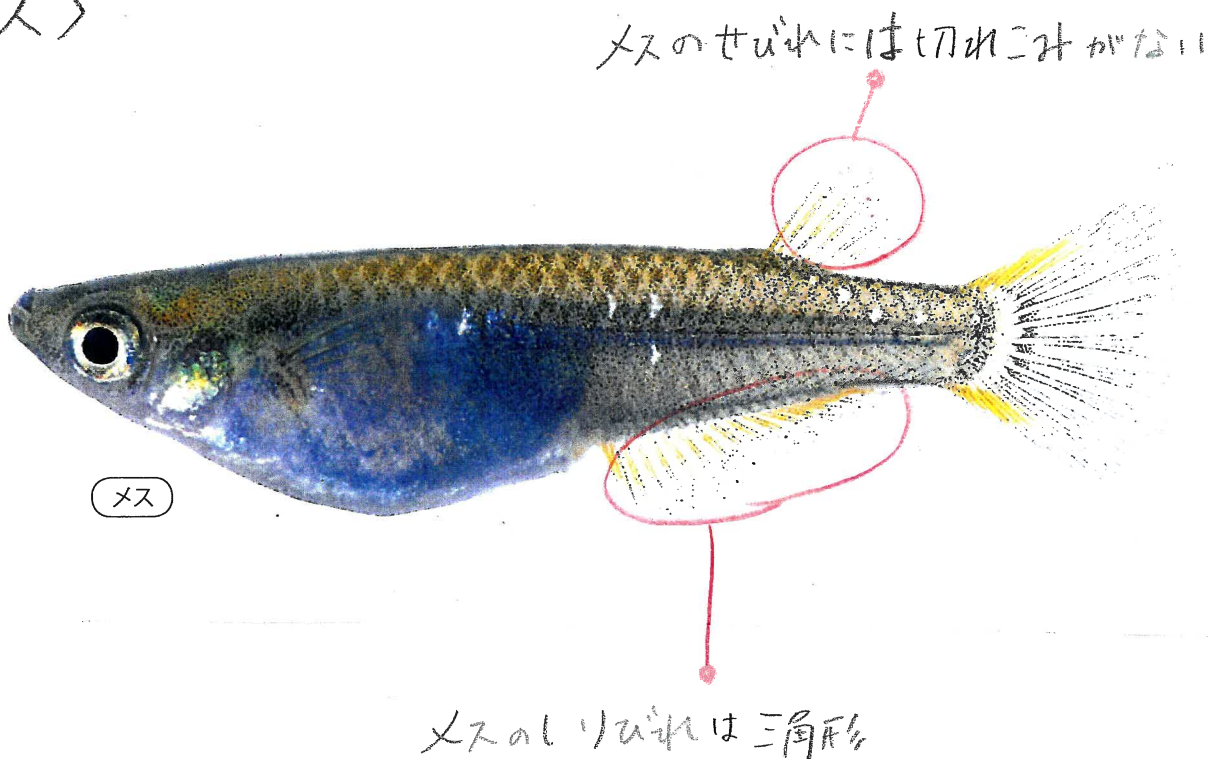


### 3) オス・メスの見分け方

<オス>



<メス>



#### 4) メダカの子供

• メダカは、ながれのゆるやかな川や用水路などに生息する。じつさに、ほくも家の近くの水路で見つけた。

• メダカは、ながれに頭をおいて泳いでいる。それは、流れてくるえさを見つけやすく食べやすから。

3. かんさつしてみよう

1) メダカの水ようかい

オス3匹、メス7匹、小さいメダカ5匹を  
1つの水そうで育てている。水草をいれただけ、  
下にすなや石をいれてすこしでも住んで  
いたかんきょうにちがつける。

2) メダカの水の1日のようす

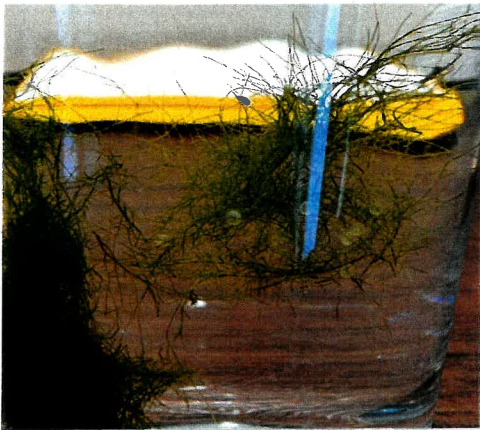
・ 日中は、水そうをおよぎまわっている。  
近づくとき、くりにして水そうをおよぎま  
わっている、本で調べるとかかにはん  
のうすとかりていた。

・ 夜は、くらくなると水そうの下のほうで  
いっとしていてあまりうごいていない。

3) たまごからふぐまでの様子

① ふかしなが、たばあり

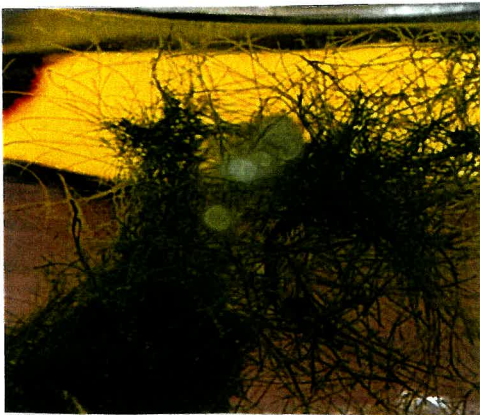
・ うまくし<sub>4</sub>せいできなが、たたまごは、  
白くなる



8月1日 水おん 29と"

もにたまごが"

なんこがついているのを見つけた。



8月3日 水おん 30と"

たまごが"

白ほぐな、てきた。

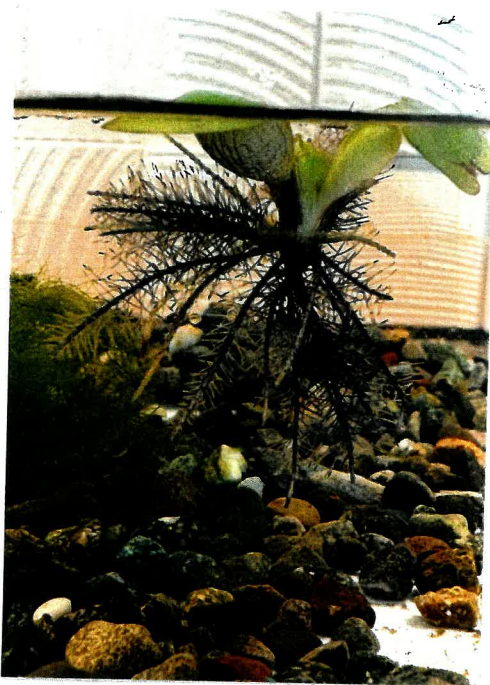


8月4日 水おん 30と"

も、と白くな、た、うまくし<sub>4</sub>せいできず、  
体のもとが、できなりまま、かゑなといか  
はえてしんでしま。

② うまくうかできたはずあい。

<当日>



8月3日

水おん 29℃

水草にたまごが何か  
ついているのを見つけた。

<1日目>



8月4日

水おん 29℃

てめいなたまごのなかのゆでき  
が、たまごの一方にあつまりはじめた。

< 2日目 >



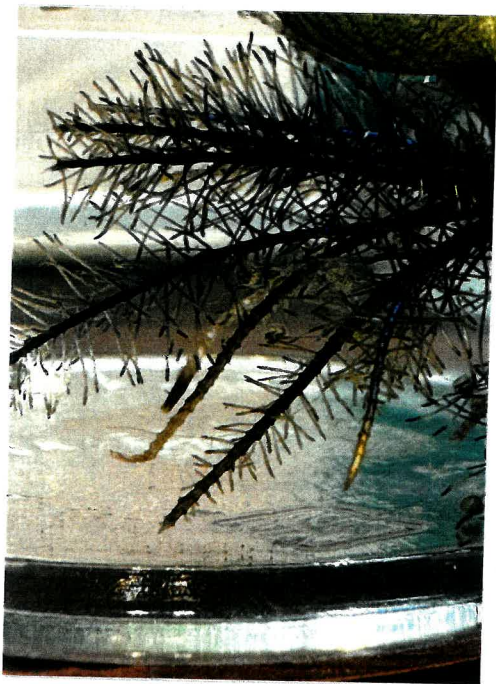
8月5日

水おん

30ど

たまごのなかに黒いアサギが見える。

< 3日目 >



8月6日

水おん

29ど

目がさらに黒くなり大きくなる。

おがの皮ははじめている。

<4日目>



8月7日 <sup>水おん</sup> 29℃

体が<sup>11</sup>の<sup>2</sup>ひたまご<sup>1</sup>のまわりを  
1し<sup>6</sup>うしている。

<5日目>



8月8日 <sup>水おん</sup> 28℃

メダカのかたち<sup>1</sup>が<sup>1</sup>は<sup>1</sup>きり  
してきた。お<sup>1</sup>が<sup>1</sup>さら<sup>1</sup>に<sup>1</sup>の  
ひる。

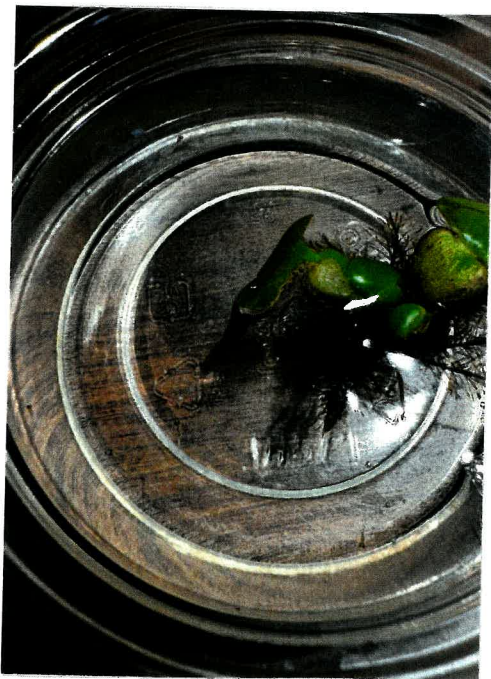
<6日目>



水おん  
27ビ

8月9日  
赤ちゃんメダカが、たまごの中  
でぐるぐるとよくうごいている。  
回るようすも見られる。

<7日目>

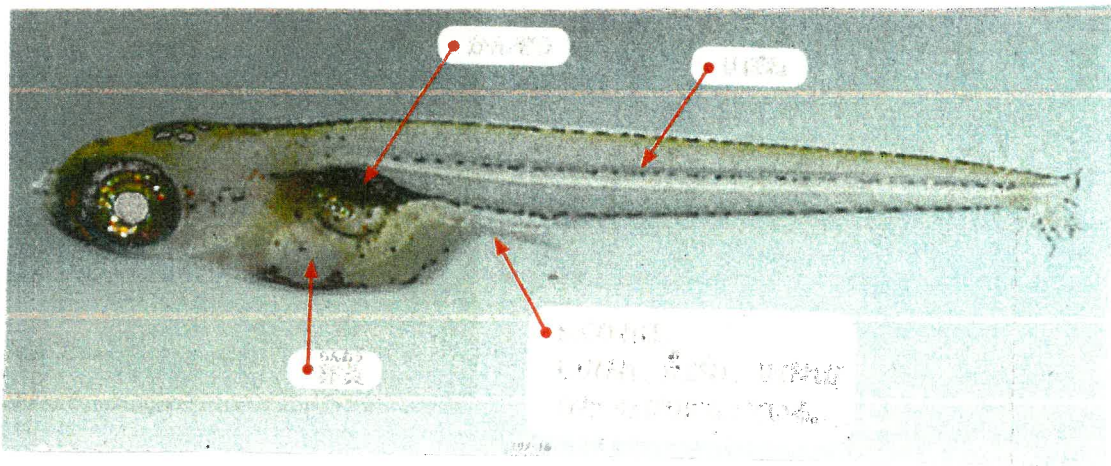


水おん

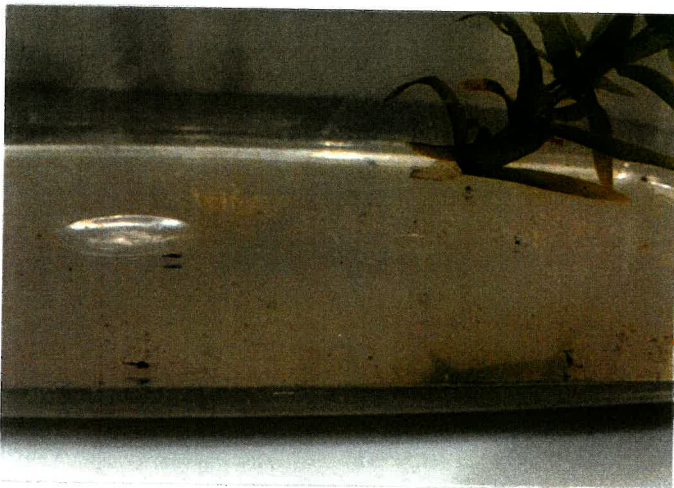
28ビ  
8月10日

メダカの赤ちゃんがうまれて  
いる。たまごから出てきた  
ばかりのメダカを上から見  
たところ、おなかの丸い部分  
に、らんおうののこりか  
がある。17匹。

- メダカのち魚のおなかには、ぶくろいがあり、そのなかにはらんあうののこりがある。  
生まれてすぐには食べものをとれないので、数日はそのえいようでゐる。



- ぶいいに大きくなるち魚は、ごくあずか。



しんで下にしがんでいゐる。

< ち魚のたんじょうのしゅんかん >



まが「さしよにしほが」とみ  
だした。  
そこからからだがをふるわせて  
いき「たまご」からとみだ  
した。



## <分かったこと>

- ・ 図書の本ではたまごは10日でぶかするとかいていたが、ほんくのそだてているメダカは7日目でぶかした。
- ・ たまごのからをかぶるときは、しっぽからだけでなく、豆頭からもかぶるときもある。

## <なぜだろう？考えられること>

- ・ しっさいでそだてているから
- ・ 水おんがほぼしっさいだ

## <気がいたこと>

- 毎日のようにメスはおなかにたまごを溜めつける
- そこからオスとメスがこらえる
- メスがらんたたまごは、水草などに溜めつける
- たまごのなかで、メダカにせいちょうし、ある日たまごのからをやぶる
- たまごからのせいちょうがはやし
- ち魚全部がせいちょうするおけではなくしんでしまうち魚もいる。

4、きんもんにをもったことをじやかにしりて見た。

1) メダカは、何にたまごをつけやすいのか

①も      ②ホテイソウ      ③アナカリス

④マツモ      ⑤人エさんらん床

<よさう> ホテイソウ

<ちか>  第1位 ホテイソウ

第2位 人エさんらん床

第3位 も

<分かったこと>

水草も様々あり、用意した②、③、④の水草は、いっはんとてきにメダカがたまごをうみつきやすいといわれている。でもぼくのメダカはホテイソウにしかたまごをつけなかった。ペットショップの店員さんに聞くと、ねがひ細く広がっているから、よりつけやすいよと教えてくれた。

## 2) メダカもなつく?

- ・おは"あちゃんからもら、た白いようにメダカをベツの水そうでか、ている。

白いメダカたちは、ほ"くか"くと水そうの上の方に集まりだす。

えさをあげるとリキリよく食"いることから、ほ"くか"くとえさをくれると分か、っているようだ。



• それとちきかえ、川でつかまえたメダカは、  
3斤づくと、水その中をにける木葉子がある。  
えさをあげてもいはいくは、水その下の方で  
じっとしている。  
そして、ゆっくと食べはじめている。  
まだまだけりかきしているようだ。

< 分かったこと >

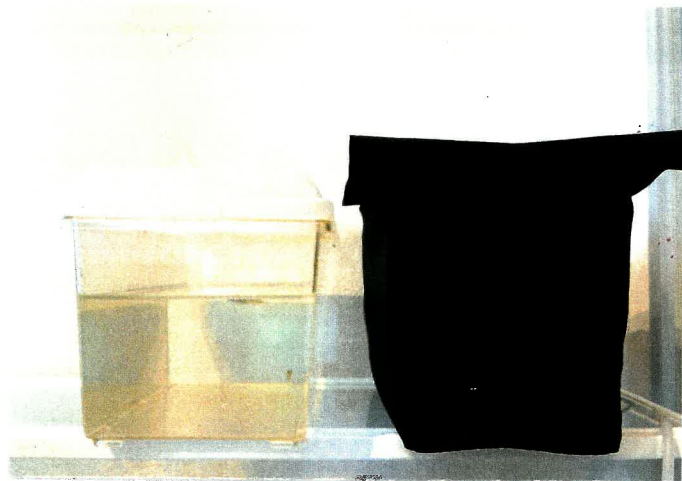
メダカは、長い間かっているといけりかきしは  
なくなり人がちかすくとちかよってくる。  
そのため人にもなつくし思う。

3) メダクの色はへんかするのかわ

① 用意するもの

とうめいな入れ物、黒いぬのでおまった  
入れ物

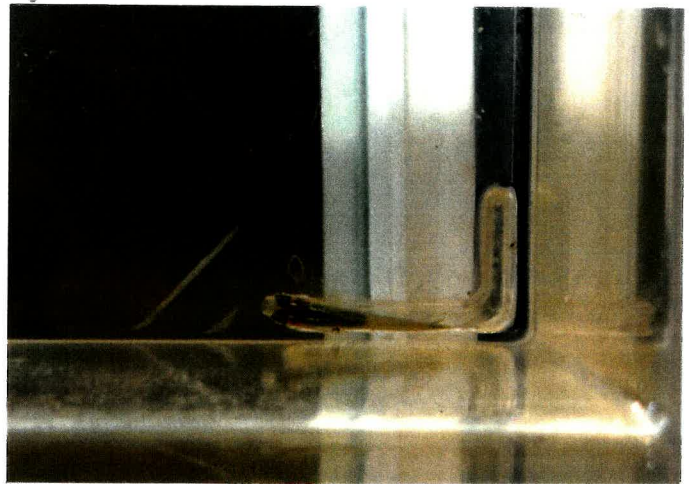
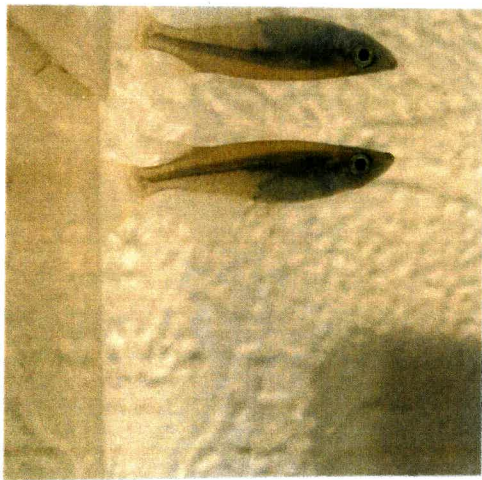
② とうめいな入れ物と黒いぬのでお  
おった入れ物にそれぞれメダクを入れ  
て体の色がどのようにへんかするのかわ  
かんさつした。



③ 1日目、へんかがない。

④ 3日後、様子を見て見ると、とうめりな水その  
のメダカは、もちろんへんかなし。でも黒いぬの  
の入れ物のメダカは体の色が全体でま  
に茶色くへんかしていった。

< とうめりな入れ物 >



< 黒いぬのの入れ物 >



< わかたこと >

メダカは、し<sup>っ</sup>らりの色によつて体の色をか  
かせる。体の色がかわるしきみとして、  
色をさしほ<sup>う</sup>。なかにほ色のつじ<sup>が</sup>あり、  
ま<sup>あ</sup>りの色でへんかする。たとえば、ま<sup>あ</sup>りが  
黒いところにいると、黒いしき<sup>を</sup>さしほ<sup>う</sup>  
のなかのつじ<sup>が</sup>さしほ<sup>う</sup>全体になが  
りからた<sup>か</sup>い黒ほ<sup>く</sup>くなる。  
ま<sup>あ</sup>りが白いところにいると黒い  
のつじ<sup>は</sup>、1か戸<sup>に</sup>あつまり、か  
た<sup>の</sup>色は白ほ<sup>く</sup>くなる。

## 5. まとめ

メダカのたまごはすぐにかち魚になるわけではなく、うまくいけばしなれど早くへんかすることが分かった。また、サリガが二とちがいのともぐりにはしなれど、うまれてきたち魚が全て成長するわけではなく、しんでしまうち魚もたくさんあることが分かった。さりきんは、外の気おん高くしつたいいでかた、でも水おんが、高いため、かんけいしているのかもしなれな。そして、メダカは色をさりほうによ、て体のいろをへんかさせることが分かった。

このようにして、かいてきかみをも、まもて、いると考える。

## 6. さしごに

今年、メダカのしりくにとりせんしたから、魚の  
かんさつは、水中の中で行ったため、おすかしがた。  
また、しつたりにしてしりくしているが、夏の気おん  
が暑いため、水おんもつちに30℃で暑い。  
そのせいかたまごをうむスも少なく、またせ長  
すさ魚も少なかった。

今後は水おんのせがしいによつてたまごをうむ  
ひんどかせりちよの木葉子にせがしいかしているのか  
言聞べたり。また白リスタカとかせりの川メダカ  
をあせせると寺にうまれてくるメダカの色にどのよ  
うなへんがやあるのかかんさつした。

参考文献

No.	著者名	著名	出版社名	出版年月日	ページ	図書館名／請求番号
1	内山りゅう	ぜんぶわかるメダカ	ポプラ社	2015年3月	P6,7,15～ 21,38,46～55	高松市図書館／487 ㍈
2	市川憲平	田んぼの生きものたちメダカ・フナ・ドジョウ	農山漁村文化協会	2012年12月10日	P4,5	高松市図書館／487 ㍈
3	草野慎二	メダカのくらし	あかね書房		P16～23	高松市図書館／487 ㍈
4	岩松鷹司	育てて、しらべる日本の生きものずかん⑧ メダカ	集英社	2005年2月28日	P6～7	高松市図書館／487 ㍈

「第14回 高松市 図書館を使った 調べる学習コンクール」 作品応募カード		学校用受付番号 (学校記入欄)	作品番号(事務局記入欄)	
		4	中・夢・牟 国・香	受付No /
部 門	(□に✓を入れてください。)			
	<input type="checkbox"/> 小学校1・2年生の部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校3・4年生の部 <input type="checkbox"/> 小学校5・6年の部 <input type="checkbox"/> 中学生の部			
タイトル	メダカのひみつ大研究			
ふりがな 氏 名	たのお ゆうせい 高尾 侑生			
<small>※作成者が複数の場合は全員の名前を記載してください。</small>				
学 校	高松市立太田                      小学校／中学校                      [ 3 ]年生			